

# 生徒シンポジウム 2017 第1議題 「理想のLINEの使い方」

議長：屋暮 弘（淑徳高等学校）

## 1 アイスブレイク

お触り人狼とキャットアンドチョコレートを行なった。

今回の話し合う内容はプライベートなところも含まれているため、このアイスブレイクでは議題への繋がりというよりは盛り上ることを意識した。まあまあ、盛り上ることができた。

## 2 普段のラインの使い方

ここでは頻度、文章量、話題の項目を聞きました。

男に対して

頻度

友達であればできるだけ早く返す

先輩には時間を考えて返す。

量

自分が伝えたい内容を羅列する（箇条書き）

あまり量とかについて考えない

話題

下ネタ 男同士でしか話せないこと

学校の話 好きな女の子の話

女子に対して

頻度

相手と同じくらい

即レス

あえてかなり時間をおく

量

うざがられないようにできるだけ簡潔に

わかりやすく丁寧に

話題

共通の趣味

名前の話？

相手の好きなもの

恋バナ

以上の内容が上がった。

## 3 どんなLINEの使い方をすれば好感を持たれるか 上がったことをまとめると

相手に配慮してコミュニケーションを取ること

でしたが、そもそも LINE はあくまで副次的なものであるということを忘れてはいけない  
(SNS とリアルでキャラがまるで違う SNS では話すけど、リアルでは話さないなど) も  
挙がった。

#### 4 理想的な LINE の使い方とは

相手のことを第一に考えて、時間や文章量、頻度などをできるだけ相手に合わせる。  
また、相手だけでなく自分自身の時間を LINE を始めとする SNS に取られないようにす  
る。